



道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト
Project News (2016年1月)

橋梁補修のパイロットプロジェクトを実施

2016年1月より、プノンペン DPWT とカンダル DPWT が管理する橋梁で橋梁補修技術のパイロットプロジェクトを開始した。

1年目のパイロットプロジェクトは、プロジェクトで実施した橋梁点検において、ひび割れが発見された橋梁(プノンペン DPWT : 2橋、カンダル DPWT : 3橋)に対し、クラック注入工法をカンボジア側へ紹介した。カンボジアにとっては初の補修工法であることから、現地実施機関を初め、カンボジア工科大学も招いた見学会を実施した。

パイロットプロジェクトの施工に先立ち、関係者間で補修箇所・足場設置の必要性・安全対策を議論し、安全意識の向上も図っている。

パイロットプロジェクトの報告は、RID の Facebook ページにおいてもクメール語にて紹介されている。



Photo 1



Photo 2



Photo 3



Photo 4



Photo 5



Photo 6

Photo 1 : 作業開始前の現場清掃

Photo 2 : 橋梁使用者に対する安全対策(注意看板の設置)

Photo 3 : 作業員に対する安全対策(足場の設置)

Photo 4 : 日本人専門家によるデモンストレーション

Photo 5 : カンボジア側職員による試験施工

Photo 6 : RID の Facebook ページでの活動報告